

# Moody's ESG Solutions

## 1. 基本情報

### 1.1 Moody's の ESG ビジネス

ムーディーズは、企業がより良い意思決定を行えるよう支援する、総合的なリスク評価を行う会社です。当社は、市場参加者が戦略的なレジリエンス、責任ある資本主義、経済のグリーン化を推進するための支援に取り組んでおり、受賞歴のあるデータ、モデル、ソフトウェア、専門知識を用いて、お客さまがリスクを測定、監視、管理できるよう支援しております。お客さまが ESG に関連するリスクと機会を特定するために必要なインテリジェンスとツール、および有意義なパフォーマンス測定と知見を提供するため、ムーディーズのサービスは、ESG、サステナブル・ファイナンス、気候変動リスクのソリューション、また ESG の信用格付への織り込みに亘ります。ESG 領域屈指のソリューション提供者になるために、ムーディーズは、Four Twenty Seven、Vigeo Eiris (V.E.)、SynTao Green Finance、RMS などの複数の企業に対して買収および投資を行っております。



2020年には、ESGと気候に関する見識に対する世界的な需要の高まりに応えるため、Moody's ESG Solutions (MESG)がESGのスペシャリストによるビジネスユニットとして発足いたしました。データと分析を提供することで、ビジネスリーダーたちはESGのリスクと機会の評価、サステナビリティアクションプランの強化、開示要件への対応を行うことができます。ムーディーズのリスク管理の専門性における長年の実績を補完するために、MESGはESGスコア、気候データ、サステナビリティ・レーティング、

サステナブル・ファイナンスの認証サービスなど、ESG 関連の幅広い目標を達成するための包括的なサービスを提供しております。当社の専門家チームは、企業、銀行、保険会社、政府、商業用不動産(CREs)、アセットマネージャー、アセットオーナーなどのマーケット・セグメントに対して、グローバルにサービスを提供しております。

## 1.2 Moody's ESG Solutions のデータ提供

当社は、業績に影響を与える重要な要因を特定し、リスクを軽減し、影響を測定するための、大企業、中小企業（およびソブリン、サブソブリン）に関するデータ、分析、見識、ツールを市場関係者に提供しております。

特に、約 10,000 社をカバーする当社の包括的な ESG Measures には、ESG Scores & Assessments, Controversy Monitoring & Alerts, Normative Standard Screening, Portfolio Review Services や Positive & Negative Screening があります。Climate Solutions では、Physical and Transitional Risk Data による気候リスクの特定などを提供しております。当社の Physical Risk データは、不動産、REIT、ソブリン、サブソブリンを含む幅広いセグメントのスコアリングを可能にします。また、ESG Score Predictor などの評価やツールも提供しております。

詳細は、<https://esg.moody's.io/solutions> をご参照ください。

## 2. ESG 関連商品を提供する際の基本原則及び方針

### □ 手法の透明性の確保

ESG やサステナビリティに関する評価、査定、スコアの基礎となるデータや手法に関する明確で透明性のある情報によって、投資家やその他の商品利用者は、どのアプローチが自身の投資哲学に最も適しているかを検討することができます。最近、当社の企業向け ESG 評価手法の改訂に関する市場参加者からの意見を募集するため、市場コンサルティングを実施いたしました。[Moody's ESG Solutions proposes enhancements to its ESG Assessment methodology.pdf](#) をご参照ください。

### □ 十分なリソースの確保など、データや手法の質の向上

ムーディーズの ESG 評価は、事業報告書、第三者による公開情報、データ業者、または非営利組織、団体・組合、信頼しうるメディアを含む他のステークホルダーからの情報など、一般に入手可能なデータソースを使用しております。企業情報には、制定された行動規範や方針、独立したサステナビリティレポート（可能であれば外部監査済みのもの）など、ESG アナリストとの対話の中で発行体から入手できる非機密情報も含まれます。信頼できるデータソースを定義し、ESG アナリストが使用する一般的な情報源のリストをアナリスト・ユーザー・ガイドに掲載しており、これは内部品質監査チームによるレビューの対象となっております。可能な限り、外部で検証または監査された情報を使用するよう努めています。公開されたデータの整合性と品質を確保することは、事業者としての責任であると認識しています。

例えば、国際サステナビリティ基準審議会や欧州財務報告諮問委員会を通じた欧州委員会のイニシアティブなどによる、企業の ESG と気候の開示に関するよりグローバルな標準化に焦点を当てた規制の取り組みは、ESG およびサステナビリティ・レーティング、評価、スコアに使用する基礎的な項目の質の向上に大きな影響を与えていると考えております。

#### □ 潜在的な利益相反の緩和と管理

利益相反管理と高い業務遂行基準の適用は、当社の従業員ならびに ESG 関連商品およびソリューションの信頼性、独立性および客観性に不可欠です。

すべてのムーディーズの従業員は当社の「[企業行動規範](#)」に従う義務があり、その行動規範には従業員がその事業活動において遵守することが期待される指針およびポリシーを定められております。従業員は、入社にあつて、行動規範に関する研修を受講し、その遵守を誓約することが求められ、これは入社後も定期的に実施されます。行動規範は、各従業員がお客さま、会社、同僚、一般の人々との関わりの中で守るべき指針も定めています。また、従業員に期待されるプロフェッショナルとしての意識とサービスの質を維持するための一般的な行動基準や保護措置も定めています。行動規範の研修に加え、より詳細な内容の必須研修を入社時に実施し、既存の社員に対しても年次の更新研修を行っております。

また、当社は、利益相反（MESG 関連企業とムーディーズ傘下の他のグループ会社間における利益相反を含む）の防止および管理のため、全社的に種々の規程やコントロールを導入しております。

#### □ 評価対象企業とのコミュニケーション

効率的な情報収集とフィードバックのプロセスは、ESG レーティングやデータ商品の提供者とその商品の対象となる企業の双方にとって有益です。例えば、データ収集にかかる時間や情報の誤表示リスクを軽減することができます。

各企業は、手法やプロセスに関する情報、現在および今後のアセスメントに関するスケジュール、前回のアセスメントに関する事前入力情報、担当 ESG アナリストや MESG と直接やり取りするための機能などを確認することができます。また、企業は、アセスメントの最終化および公表に先立ち、アセスメントのドラフトを確認し、コメントを提供することができます。

当社の苦情管理システムは、プロセスや手法の適用に関する質問や懸念の提起を行う機会を事業体に提供します。結果に重大な不一致がある場合、企業は不服を申し立てる権利を有しています。

### 3. 以下の項目についての見解

#### □ ESG 評価・データ提供者の行動規範や企業・投資家等に期待される役割について

手法の透明性と多様性： ESG データ提供者が使用する手法の透明性の向上と開示を支持しております。市場参加者に多様な視点を提供するために、異なるタイプの ESG 手

法が市場に共存することが許容され、且つ奨励されるべきであると考えます。企業が地域社会、顧客、従業員、債権者、株主など様々なステークホルダーからのニーズと期待の調整をいかにうまく管理しているかという観点の違いは、ESG評価提供者の多様性をもたらします。

□ **資本市場を健全に発展させるためには、ESG評価・データサービスの利用者である投資家と、評価・データベースの対象である企業が果たすべき役割が重要であるとの見方について**

特にありません。